



# 士別ロータリークラブ会報

創立1960・3・24 RI第2500地区

vol. 36 No. 2135

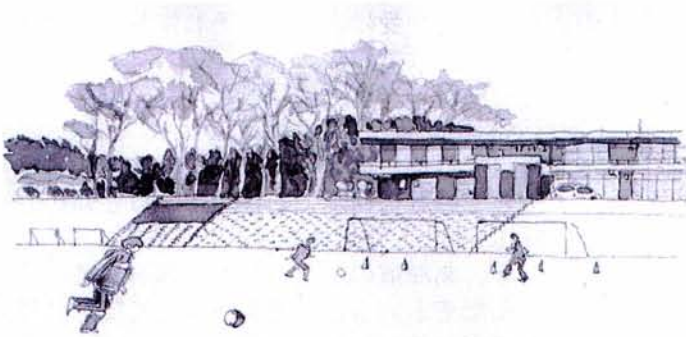
二世紀への出発 原点に戻ろうロータリー

## 超我の奉仕。

百年を礎に原点に戻ってもう一度ロータリーを語ろう

2005～2006年度 RI会長

カール・ヴィルヘルム・ステンハマー



百瀬達夫画

例会場/士別グランドホテル

例会日/毎週月曜日 12:10～13:10

事務所/士別グランドホテル

TEL (0165) 23-1234

会長/汐川 泰晴

副会長/織戸 俊二

幹事/川原 一夫

士別河川防災ステーション (天塩川河川敷)

## 第2212回例会 2006年4月24日(月)

### 今日のプログラム ・夜間例会

#### ■前回(4月17日)の記録■ ・普通例会 ・ゲスト卓話 女優(冒険家)和泉雅子様

司会 藤吉敏博会場監督

斉唱 我等の生業

本日の出席 出席率78.4% 会員65人中 出席者51人

本日の欠席 犬伏彰吾、川橋勝美、国森和磨、柴田敏郎、菅原清人、田中義博、谷 温恵、寺下隆通、鍋島 秀、野崎英男、本山忠之、渡辺正一、阿達 勇、福島栄三、

メイクアップ 菅原会員(名寄ロータリークラブ出席)

ピジター

ゲスト 和泉雅子様(講演:笑ってよ、北極点)

ニコニコBOX 足利会員(士別市議会議員選挙当選)、松塚会員(3女薬剤師国家試験合格)

累計272,000円

### 例会予定

#### 4月・ロータリー雑誌月間

4月3日(月) 普通例会・理事会

4月10日(月) 普通例会

4月17日(月) 普通例会

4月24日(月) 夜間例会

#### 5月・ボランティア月間

5月1日(月) 特別休会

5月8日(月) 普通例会・理事会

5月14日(日) I・M 美深ロータリークラブ

5月15日(月) 花見例会

5月22日(月) 普通例会

5月29日(月) 夜間例会

## ■会務報告

汐川泰晴会長

雪解けも日増しに早くなり、桜のつぼみもようやく膨らんでくる季節となつて参りましたが、このところ暖かい日が続いたかと思うと急に寒くなったり、なんとも落ち着かない天候が続いております。皆様どうぞお体には十分気を付けて頂きたいと思ひます。

さて、一昨日まで賑わつておりました市議会選挙も終わり、新人候補者として出馬されました、当クラブ会員の足利光治会員が、激しい選挙戦を勝ち抜いて、念願の初当選をされました。心よりお喜び申し上げます。おめでとうございます。今後、士別市議会議員として又、ロータリアンとして、新しいまちづくりのために、ご活躍されることをご期待申し上げます。

すでに、大塚会長予定者の元で、新年度に向けてクラブ運営の準備が万全な体制で進められております。今月22日、23日の2日間、紋別において開催されます会長エレクト研修セミナー・地区協議会に出席されます役員の皆様方には、さらに実りある有意義な地区協議会になります様、ご期待申し上げます。

## ■幹事報告

川原一夫幹事

1) 受信関係＝士別国際交流協会より第4回役員会の開催の案内。扇谷国際奉仕委員長が対応。士別ライオンズクラブからライオンズ広報誌「若獅子」。

2) 5月14日美深ロータリーにて開催されるIMには23名の会員の登録。当日ホテルよりバスにて行きますが、詳しくは配布した書類にてご確認を。また当日は佐藤元信会員にはパネラーとしてお世話になります。

3) 前回の例会で案内した「まちづくり3法の改正と今後のまちづくり」研修会、受付に参加申し込み書を置きましたので多数の皆様ご参加をお願いします。

### 平成18年度士別RCゴルフ同好会例会の御案内

本年度は下記の日程にて例会を開催する運びと成りましたので、御案内申し上げます。万障お繰り合わせの上ご出席下さいます様お願い致します。

#### 平成18年度 ゴルフ開催日程

第1回	5月13日(土)	スタート午後0時30分
第2回	6月14日(水)	スタート午後1時
第3回	7月8日(土)	スタート午後0時30分
第4回	8月10日(木)	スタート午後1時
第5回	9月9日(土)	スタート午後0時
第6回	10月4日(水)	スタート午後0時

年会費¥12,000

振込先

士別信用金庫本店(普) No. 1111142  
士別ロータリークラブゴルフ同好会  
会計 齊藤 進

なお単発的に出席される方は1回につき¥3,000をその都度頂きます。

連絡先 TEL: 0165-23-2188・FAX: 0165-23-2180

齊藤 進 宛

## ■次年度幹事報告

菊地 博 次年度幹事

4月22日、23日に紋別市で行われる会長エレクト研修セミナー並びに行われる地区協議会ですが、本日が最終案内です。それぞれ書面をもってスケジュール、分科会会場等を御案内しています。23日についてはこのグランドホテルを士別ハイヤーのマイクロバスで午前7時30分に出発しますので、この時間までに集合をお願いします。地区協議会は9時30分からです。詳細は私の方に問い合わせください。

## ■ ゲスト卓話②「笑ってよ、北極点」

女優(冒険家) 和泉雅子氏

今週は女優ではなく、探検家として参りました。士別市にどうしてマークン山荘を造ったのとたくさんの人から質問を受けますが、それはやはり北極点の遠征がきっかけでした。

私は2度挑戦しました。

1回目は昭和60年、これはおしかつたです。後148キロで北極点でした。自殺を考えるほど泣き続けましたが、生きていれば何度でも挑戦できると奮い立たせて、晴れ晴れとした気持ちで日本に帰ってきました。

昭和61年、北海道の子どもたちに寒いっていうのは楽しいんだぞということを知らせてくた、札幌から網走までキャラバンを組んで学校でスノーモビルとソリに子どもたちを乗せて楽しませていた中に、士別市も入りました。

どうしてかという士別市がなんとスノーモビル発祥の地、誕生の地ではありませんか。これはぜひと寄りましたら、この日はマイナス30度でした。ホテルで講演会を行い、これがきっかけになり、毎年、ヤマハのテストセンターに試乗会に来ました。

北極、南極にも何度も出かけ、イヌイットの民具などもたくさんたまりましたが、これを預かってくれた(寄贈した)のが士別市立博物館でした。

2度目の挑戦では1度目の失敗を踏まえ、グループ編成、ストレスの解消、人事の重要性、挑戦する年齢などに配慮しました。2度目は若手も入れました。北極適齢期というのがあって、35歳から45歳が一番いい年頃です。意志力と体力が一致しています。

昭和60年代といえば女性はまだ誰も北極点を挑戦していませんでした。最初はテントを3つ張って男女の仲というのも考慮しましたが、そんな心配は不要でした。北極点は生きるか死ぬかが先でした。2度目ではテントをひとつにしました。北極点では氷の状態も悪く、時間が30分しかありませんでした。日本人らしく景気よく3本締めで祝いましたが、私の北極点はあつという間に終わりました。無一文になってしまいましたが、その代わりに、この世の中ではお金で買えないものをたくさんいただきました。

士別市は景色も良く、人柄が良く、親切で暮らしやすい、こんな素晴らしいところはないと、思い切つて決心しました。士別と知り合い、家を建てて10年になります。本当に良かったと思っています。